

新たなる共助精神の構築に向けて

多摩市自治連合会

会長 千葉 胤昌



私達が日常の社会生活を送る中でお互いが手を携え、共に助け合って過ごす事は何時の時代でも基本的な事であり、時代を超えた普遍的な理念の姿です。私達の自治会は“その地域に住む人々によって、その地域に住む人々のために活動する”最も身近に結成された組織です。親睦・交流・連帯を基本理念と捉えていますが、その地域の特性、社会の変遷、結成の過程などによって、その活動内容は実に様々な形態を持っております。しかし、そこに共通するものは、お互いが助け合う“共助”の精神と理念です。

昭和39年開催の東京オリンピック前後を機として高度経済成長を迎え、都市部における住宅対策は緊急の課題であり、まさに多摩ニュータウン開発が始まり、そこへの入居開始は多摩市の地域社会に大きな変革をもたらしました。急速に進んだ多摩市の都市化、各地から出身地を異にする方々が多摩の地区に新しく居住されましたが、その方々の手によって地域の自治会を作り上げる事は決して容易な事ではありませんでした。既存地区と称される旧来から続いている地域の自治会と、新たなる新興地区の自治活動の共成構築を模索した延長上に今日の多摩市自治連合会が発足し、以

来50年の歴史を刻んで参りました。都市化が急速に進んだとは言え、豊かな自然が多く残る私達の多摩市において、この環境に生まれ、ここを生まれ故郷とする多くの子供達が育って行きました。その子供達を育てた多くの人々が高齢化を迎えた今日の姿もあり、私達の自治会もその時々の実態に対応して地域活動を続けて参りました。

今、多摩市自治連合会は勿論、これを構成する各地域の自治会・町会・管理組合におけるこの50年の歴史を紐解き考察を加える時、そこには“私達が今後の自治活動に如何に取り組むべきか”という問いに答えるべく多くのヒントが潜んでおり、やはり“共助の精神”の構築が基本となります。

50年後に迎える100周年記念に向け、多摩市自治連合会は一つの区切りのスタートとなります。皆様が地域自治活動に取り組まれますその熱意に感謝を申し上げます。

有難うございました。

50周年を祝して

多摩市長 阿部 裕行



多摩市自治連合会が創立50周年を迎えられますこととともに、記念誌を発刊されたことを心からお祝い申し上げます。

多摩ニュータウンの計画が決定された昭和40年に、貴自治連合会が創立されました。以来、50年の長きにわたり、輝かしい歴史を築いてこられました歴代の会長や役員をはじめ、会員の皆様のご努力に心より敬意を表します。また、防犯・防災・見守りなどコミュニティ活動を力強く推進し、地域住民が安全・安心に暮らせるまちづくりにご尽力いただいておりますことに感謝を申し上げます。

地域のコミュニティづくりの基本は、地域における住民相互の連帯のもと、より豊かに安全で暮らしやすい地域を築き上げていこうとする愛着心を育てていくことだと思います。そのためには、市民が主体となった地域づくりを進めるとともに、それを支える人材づくりや、様々な担い手により連携・協働の仕組みづくりが必要となります。多摩市では、4人に1人が65歳以上となっており、さらなる超高齢社会への進展が見込まれていますが、要介護認定率が低いことや、健康寿命が都内26市でトップクラスという「元気高齢者」の多い自治体です。健幸都市（スマートウェルネスシティ）の

創造に向け、今後とも、広い知識と豊かな経験を持った元気な高齢者をはじめ地域の皆様に、まちづくりをともに進めるパートナーとして、多摩市を支えていただきたいと思います。

本市は、平成27年度に第五次多摩市総合計画第2期基本計画をスタートし、将来都市像「みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩」の実現に向け、市民主体による地域づくりにおける様々な施策を、貴自治連合会の皆様のご協力をいただきながら取り組んでまいりますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、多摩市自治連合会の皆様方におかれましては、本市のまちづくりの核として、今後とも地域の発展のために一層ご活躍いただくことを心からお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

創立50周年を祝して

多摩市議会議長 萩原 重治



多摩市自治連合会が、創立50周年を迎えられましたことに、多摩市議会を代表して、心からお慶び申し上げます。

千葉会長をはじめ役員の方々、会員の皆様におかれましては、様々な課題を乗り越え、今日まで精力的に活動されてこられましたご努力に対して、改めて敬意と祝意を表させていただきます。

近年頻発する自然災害時の対応や安全・安心のまちづくり、そして地域課題の解決など、誰もが暮らしやすい地域づくりのためには、地

域住民による支え合いが欠かせません。そのため自治会・管理組合等の存在は、今改めて注目されており、それら個々の点をつなぎ、点から線へ、線から面へと自治を紡いでいく自治連合会の担う役割は今にも増して重要となって参りますので、今後のさらなる取り組みにご期待申し上げます。

結びに、多摩市自治連合会並びに会員の皆様の益々のご発展とご活躍を祈念申し上げ、多摩市議会を代表しての、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

創立50周年を祝して

多摩市教育委員会代表教育委員
中澤 敬



多摩市自治連合会の発足から50周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。昭和40年に12団体で発足された多摩市自治連合会は、50周年にあたる本年には、加入団体数が約10倍の112団体にまで増え、大きな団体に成長されております。このことは、多摩市自治連合会が多摩市の発展とともに歩んでこられ、民主主義の学校とも言える地域活動の振興に大きく寄与されている組織であることの証だと思えます。

これまでそれぞれの活動にご尽力されてき

た自治会・町会・連合会及び管理組合の代表者の皆様並びに自治連合会役員の皆様には深く敬意を表します。毎年お招きいただいている情報交換会や体育祭（スポレク）は、会員相互の親睦や連携が図られるための有意義な事業であると感じております。

今後も、多摩市自治連合会の様々な事業を通して会員相互のますますの親睦と連携が図られ、多摩市の地方自治が発展していくこと期待しております。